

科目区分・分類	専門・講義	対象学科名・学年	電気電子3年	科目コード	39200311
科目名	マイクロコンピュータ Microcomputers				
担当教員	古川 万寿夫				
単位数(時間数)	必修 通年 2単位 (60時間)	学習・教育目標との対応			
授業の目的と概要	マイクロコンピュータの基本構造について学習をする。アセンブリ言語プログラミングを理解する。マイコンシステムの開発について学習する。				
先修科目	情報処理基礎				
後修科目					
備考					
	<b>授業項目</b>	<b>時間</b>	<b>内容</b>		
1	マイコンとは、2進数、10進数および16進数	4	マイコンの必要性や用途について説明できる。2進数、10進数、16進数を理解し、相互変換ができる。		
2	マイコンの基本構成	2	CPU、メモリ、I/O、各種バスの各機能について説明できる。		
3	ワンチップマイコンおよびCPUの内部構成	2	ワンチップマイコン、CPUの内部構成およびCPUの動作のしくみについて説明できる。		
4	機械語とアセンブリ言語の概要	2	アセンブリ言語プログラムの構成とアセンブラについて説明できる。		
5	転送命令、無条件分岐命令	4	転送命令および無条件分岐命令を用いたアセンブリ言語プログラミングができる。		
<b>前期中間試験</b>					
6	I/O入出力の方法と簡単な入出力回路	8	アセンブリ言語により基本的なI/O入出力プログラミングができる。LED出力およびスイッチ入力 of 簡単な入出力回路を構成できる。		
7	算術演算命令	4	算術演算命令を用いたアセンブリ言語プログラミングができる。		
8	条件付分岐命令と比較命令	4	条件付分岐命令と比較命令を用いたアセンブリ言語プログラミングができる。		
<b>前期期末試験</b>					
9	ビット処理命令・論理演算命令	4	ビット処理命令・論理演算命令を用いたアセンブリ言語プログラミングができる。		
10	サブルーチンとレジスタ退避命令	6	サブルーチンとレジスタ退避命令を用いたアセンブリ言語プログラミングができる。スタックについて理解し説明できる。		
11	マイコンの応用1	4	マイコンを応用したプログラミングができる。マイコンの応用について説明できる。		
<b>後期中間試験</b>					
12	レジスタ間接アドレス指定による転送命令	6	レジスタ間接アドレス指定を用いたメモリ操作によるアセンブリ言語プログラミングができる。		
13	割込み処理	6	割込み処理を用いたアセンブリ言語プログラミングができる。割込みのしくみについて説明できる。		
14	マイコンの応用2	4	マイコンを応用したプログラミングができる。マイコンの応用について説明できる。		
<b>学年末試験</b>					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	マイコンに関する基本知識を理解すること、アセンブリ言語プログラミングができること、マイコンに関する開発・応用知識を理解することで学習・教育目標の(C-2)の達成とする。				
成績評価	4回の定期試験(60%)、課題などの提出物の評価(40%)とし100点満点で(C-2)を評価し、60点以上を獲得した者を合格とする。				
教材	教科書：授業中に配布するプリントを使用する。 参考書：深海栄治「R8C/Tinyマイコン・リファレンス・ブック」CQ出版社				

**オフィスアワー**

水曜日 14:30 ~ 15:30 , 電気電子工学科棟 3F古川教員室 .